

こくりゅうだよ



7月号

大阪府立桜塚高等学校 2年 里見穂乃花
「水分、塩分補給を忘れず夏を乗り切りましょう!!」



今後のイベント情報

※場所の記載がないものはとよなか国際交流センターで開催します。



イスラームを知ろう!

茨木モスクフィールドワーク

7月15日(土) 13:30~16:00

内容：大阪茨木モスクの見学、イスラームならびに在日ムスリムについてお話を聞く。

定員：20人(申込先着順)

費用：無料 ※会場までの交通費は各自負担

申込：7月13日(木)までに電話、来館、メールにて申込。

国流シネマカフェ

「ブルー・バイユー」

8月11日(金・祝) 14:00~16:00

※13:45~入場受付開始

養子としてアメリカにやってきた韓国生まれの青年が、家族とともに異国で暮らす困難を描いた映画。

定員：50人(申込先着順)

費用：無料

申込：電話、来館、メールにて申込。

4/2（日） 庄内にほんごボランティア養成講座を開催しました！



講師の安田乙世さん



熱心に聞き入っている参加者の皆さん

4月2日（日）10:00～12:30当協会主催で、2月にオープンしたばかりの庄内コラボセンター（愛称・ショコラ）で庄内にほんごボランティア養成講座を開催しました。11名の近隣 地域在住の方々が参加しました。

協会職員から協会の日本語交流活動について、『庄内にほんご』の現役ボランティアから庄内にほんごの成り立ちと現在の活動状況について紹介がありました。ほとんどの方は初めて協会主催の活動に参加し、「ながくボランティアをしている方がおられるのを知って、心強く思った」「教室の雰囲気がとてもアットホームでよかった」とのご感想をいただきました。

後半は、講師の安田乙世さん（NPO法人おおさかこども多文化センター理事/日本語教育支援グループことのは副理事長）から、地域日本語教室の活動に求められること、教材『きいてまねしてはなして』の作成までのストーリー、特徴、構成及び使い方について、話がありました。参加者からは、「内容が分かりやすかった」「地域で学ぶ日本語は生きるためのことばというのを強く感じた」「難しく考えなくてもいい」「とりあえずやってみたい」など積極的な声が聞かれました。

受講された皆さんは、『庄内にほんご』の見学を経て、ボランティア活動を始めています。地域密着の日本語交流活動の担い手として、皆さんのご活躍を期待しています。（協会職員・林陽）

【報告・前編】 多文化子育て支援ボランティア養成講座を開催しました！

第一回（5/16） 「ボランティアをはじめよう！～子育て支援ボランティアが大切にしたい視点とは～」

講師：上村有里さん（(特活)とよなかESDネットワーク 事務局長、豊中市立市民公益活動支援センター センター長）

豊中で子育て支援ボランティアとして長く活動されてきた経歴のある上村さんから、活動で大切にしていること、子どもの権利、ボランティアの心構え、などについてお話をうかがいました。「相手に寄り添う」ということは、自分自身の親切心（「～してあげたい」気持ち）を横に置いて相手の気持ちや決定を尊重すること、時には待つことも大切、という言葉が心に残りました。

参加者からは、「ボランティアの心得が知れてよかった」「多様な側面からお話いただきボランティア活動のイメージがもてた」という感想が聞かれました。



講師の上村有里さん

第二回（5/23） 「『性の多様性から「じぶん」について考える』～誰もが排除されない社会をめざして子どもたちとの出会いからみてきたこと～」

講師：田中一步さん・近藤孝子さん（にじいろi-Ru）

セクシャルマイノリティとされる子どもたち、そしてすべての子どもたちのための活動をされているお二人から、様々な側面で「普通」に当てはまらない子どもたちが経験しているしんどさ（時にそれは「しんどい」とさえ思えないほどに自分を抑えてしまうもの）について、お二人のご経験や子どもたちの感想を交えてお話いただきました。そのしんどさに目を向け、大人がこのような世の中を変えていくことの必要性をお話されました。

「これからはもっと子どもの思いや考えを尊重しようと思った」「これから家庭や地域でどのように行動していくか改めて考えさせられた」などの感想がありました。（協会職員・山本房代）



講師の田中一步さん、近藤孝子さん

第三回（5/23）の報告は8月号に掲載予定です！

2018年2月号に最終回を迎えた連載「なんじゃ・カンジャ・言わせてもらえば」の執筆者、皇甫康子さんのコラムです。
皇甫さんの想いとメッセージがイモチョモ（あれこれ）詰まったコラムをどうぞ。

5月の初め、4年ぶりに韓国から親戚たちが日本にやってきた。高齢の父に会いたいという願いはコロナ禍のせいで断念せざるを得ない状況だった。狭い部屋に雑魚寝をし、夜遅くまであれやこれやと話しが弾む。まるで修学旅行のようだとはいやいでいた。キムチや食材も持ってきて、従妹たちが家庭料理をふるまってくれる。チャプチェ、プルコギ、作り立てのキムパップは最高においしい。私が大好きな韓国のお餅もあり、久々にみんなで食卓を囲むという幸せを味わった。お互いの近況を話したあと、父の妹である80代の叔母が女だというだけで学校に行かせてもらえなかった。好きな人とも結婚できなかったと嘆く。親が決めた夫に先立たれ、幼い子ども4人を育てた苦労話は何度聴いても胸が痛む。女だからと諦めないで、大学進学を果たした従妹たちの努力もすごい。話の中に何度も出てくるのが、日本から仕送りをし続けた父への感謝の言葉だ。貧しかった韓国で、父の支援がなければ今の自分たちはいないと言ってくれる。

そんな親戚たちだが、保守的な地域なので、政治的な話は意見が合わない。文在寅前大統領は口先ばかりで、支援のバラマキをして若い世代への負担を重くし、就職も難しい。「北」の言いなりになって自国の軍隊を激励することもなかった、と言う。従妹の夫は苦学して職業軍人になった人だ。とりわけ、従妹たちの怒りを買ったのは、日韓関係の悪化だった。反日の機運が高まり、日本にいる親戚の話ができなくなったという。過去の清算をしてこなかった日本が悪いとは思いますが、経済的にも政治的にも日本とは仲良くしないと本当に困るというのだ。

「在日」の私の味方になってくれるのは保守的な考えを持った人ではなかった。韓国も同じで、友人たちは進歩的な人ばかり。私が聴く話とは真逆な話なのだが、納得できる意見もある。日本と韓国の関係が悪くなると、すぐに影響を受けるのが私たち「在日」だ。2019年、大阪での同胞との交流会で「在日」の苦労に報いたいという文大統領の言葉を信じていたのだが、どんどん関係悪化が進んでしまった。先の大統領選はどちらの候補も支持できず、選ぶのが困難だったと従妹たちは嘆く。それでも、現政権の外交手腕に期待したいという。それぞれの立場から政治を見ると支持する対象が異なるのは当然のことだが、多数者や力を持った人たちの意見ばかり聞くような政権では、安心して暮らすことはできない。我慢を強いるならきちんとした説明や将来への希望を提示するべきだと思う。

言いたいことを言いあい、互いを思いやり、ますます従妹たちとの関係は深まった。次の再会を約束して、3泊4日の合宿生活を終えた。

【告知】イスラームを知ろう！～茨木モスクフィールドワーク～

日本には今、20万人を超えるムスリム(イスラーム教徒)がいるのをご存知でしょうか？留学のため、仕事のため、結婚のため、様々な理由でたくさんのムスリムが隣人として暮らしており、イスラームに入信した日本人も少なくありません。ムスリムの生活に欠かすことのない宗教施設であるモスクも日本各地に100か所ほどあり、大阪府内にも4つのモスクが点在しています。

今回はそのうちの一つ、茨木市豊川にあるモスクを訪問し、イスラームが大切にしていること、日本の暮らしの中での課題や多文化共生のためのヒントについてお話を伺います。奮ってご参加ください。



※イベント詳細は表紙ページ下部をご覧ください

2023

7月

の事業開催カレンダー

※コロナウイルス感染症対策のため、予告なく変更となる場合があります。
記載のない定例事業については、とよなか国際交流協会にお問い合わせください。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
26	27	28	29	30	01	02
					相談 若者	がちゃ 庄内 貸室抽選会
03	04	05	06	07	08	09
もつと 相談	おやこ 相談 こんぱす	休館日	千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	金あさ にこにこ 相談 こんぱす	相談	がちゃ 母語 サンプル 庄内
10	11	12	13	14	15	16
もつと 相談	おやこ 相談 こんぱす	休館日	千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	金あさ にこにこ 相談 こんぱす	相談 茨木モスクフィールドワーク 13:30～16:00	がちゃ 母語 サンプル
17 海の日	18	19	20	21	22	23
	おやこ 相談 こんぱす	休館日	千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	金あさ にこにこ 相談 こんぱす	相談	がちゃ サンプル 庄内
24	25	26	27	28	29	30
もつと 相談	相談 こんぱす	休館日	千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	金あさ にこにこ 相談 こんぱす	相談	がちゃ 母語 サンプル 庄内
31						
もつと 相談						

◆赤字表記の活動については、活動内容を変更している場合があります。詳しい情報については、とよなか国際交流協会へお問い合わせください。

センターが主催する定例事業

月曜日…	もつともつとつかえるにほんご ※ひらがな・カタカナが書ける人が対象 外国人のための多言語相談	10:00～12:00 11:00～16:00
火曜日…	おやこでにほんご(千里・岡町・庄内の各図書館で実施) 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぱす	10:00～12:00 11:00～16:00 17:00～19:00
木曜日…	とよなかにほんご・木ひる 多文化こども保育にこにこ 千里にほんご(千里文化センターコラボで実施) 外国人のための多言語相談 オンライン日本語	13:30～15:20 13:30～15:30 10:00～11:30 11:00～16:00 19:00～20:00
金曜日…	とよなかにほんご・金あさ 多文化こども保育にこにこ 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぱす	10:30～12:00 10:30～12:00 11:00～16:00 17:00～19:00
土曜日…	韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい ※毎月第3土曜日のみ 外国人のための多言語相談 若者のたまりば※第1土曜日のみ	9:30～11:30 11:00～16:00 14:00～16:00
日曜日…	にちようがちゃがちゃだん こども母語※第2,4日曜日のみ 学習支援サンプルイス 庄内にほんご(庄内コラボセンターで実施)	10:00～12:00 10:00～12:00 13:00～15:00 13:00～15:00

今月のピックアップ

LINEの友達追加してください!

生活に役立つ情報を多言語で発信しています



日本語



中国語



韓国・朝鮮語



英語



タイ語



ベトナム語

とよなか国際交流センターおしらせ

「こくりゅうだより」第171号(2023年7月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会

住所:〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F
(阪急宝塚線豊中駅すぐ)

開館時間:9:00～21:30(水曜休館)

TEL:06-6843-4343 FAX:06-6843-4375

E-Mail:atoms@a.zaq.jp WEB:http://www.a-atoms.info/

多言語情報も配信しています!

SNSも随時更新中!

「とよなか国際交流センター」で検索!

